

保護者・幼児期支援者向け人材育成プロジェクト

ペアレントプログラム（ペアプロ）プロジェクトチーム

取組期間：令和2年7月～3年3月

報告書記載者：札幌市子ども発達支援総合センター 小川剛一

代表：札幌市子ども発達支援総合センター 小川剛一

令和2年度の重点取組

- ・身近な地域でペアプロ実施できる体制を整備するにあたって、地域性や関係機関の事情に特化した留意点や課題を抽出する。

活動概要

- ・第1回打合せ（令和2年9月28日）
 - 当プロジェクトの概要説明と意見交換
- ・第2回打合せ（令和2年12月3日）
 - ペアプロを支援者に知らうための取り組みについて意見交換

抽出された課題

- ・普及に向けて支援者養成が必要だが、ペアプロの支援者育成の仕組みとして研修型プログラムを計6回受講しなければならない。研修プログラムに職員を派遣する現場としては負担が大きい。
- ・参加する保護者にとっても、計6回のプログラム参加を負担に感じてしまうことも想定される。
- ・仮に支援者一人がペアプロを習得できたとしても、それを自身の職場に還元することは容易ではない。

課題解決に向けた次年度の取組予定

- ・支援者がペアプロを知ることによって、保護者のエンパワメントや虐待予防等を期待できる側面もあるため、ペアプロを普及する前段階として、支援者向けの啓発を目的とした研修会を企画したい。